

地域の暮らしを話す会

令和4年度実施報告書



社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会



目 次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 令和 4 年度実施報告	p 4
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 6

【各地区の意見詳細】

① 日 新 地区	p 9
② 佐野台 地区	p 1 1
③ 北 中 地区	p 1 2
④ 三 小 地区	p 1 4
⑤ 末 広 地区	p 1 7
⑥ 一 小 地区	p 2 2
⑦ 長 滝 地区	p 2 4
⑧ 上之郷 地区	p 2 7
⑨ 大 土 地区	p 3 0
⑩ 長 坂 地区	p 3 9
⑪ 日根野 地区	p 4 2
⑫ 南 中 地区	p 4 7
⑬ 中 央 地区	p 4 8
⑭ 二 小 地区	p 5 0

地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

1.地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→地域の困りごとを地域住民で話し合って把握する場です



「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合って把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

なぜ座談会が必要なの？

3つの理由があります。



2.住民座談会がなぜ必要なの？

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために



最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために



「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで
見つけてのばしていこう！



→自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく



目的は「地域の福祉を推進していく」誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくるのが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々時代に合った地域づくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



住民座談会で、地域の困りごとをみんなであいましょう！

自然災害などで困ったとき、助けあえるといいね。

顔や名前を知らない人が結構いるからなあ。

あいさつの輪をもっと大きく広げたい

子どもの事件が増えて不安だわ。



■小地域って？

小地域とは「住民の顔が見える地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

参考文献：山口県社会福祉協議会、平成 18 年 3 月
「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

令和 4 年度実施報告

1)開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成 25 年度・平成 26 年度の 2 か年をかけて「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の 2 つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成 25 年度に市内の 14 地区で 2 回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

平成 27 年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSW が協働で継続的に取り組んで行くことになりました。また令和 3 年度から「第 3 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」が施行されました。コロナの影響により書面で開催した地区もありましたが、ほとんどの地区で対面において開催されました。

《令和 4 年度「地域の暮らしを話す会」 開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日 時	場所	人数
日新	12 月 12 日（月） 18 時 30 分～	ホテルニューユタカ	43 人
佐野台	12 月 7 日（水） 11 時 00 分～	南泉ヶ丘町会館	4 人
北中	11 月 28 日（月） 19 時 30 分～	鶴原町会館	24 人
三小	12 月 17 日（土） 10 時 00 分～	新町会館	16 人
末広	12 月 15 日（木） 19 時 00 分～	東羽倉崎南町集会所	23 人
一小	書面開催		62 人
長滝	5 月 5 日（木） 10 時 00 分～	長滝第一町内会館	12 人
上之郷	11 月 24 日（土） 19 時 00 分～	上之郷コミュニティセンター	20 人
大土	2 月 11 日（土） 19 時 00 分～	土丸町会館	15 人
長坂	11 月 8 日（火） 19 時 00 分～	北部市民交流センター	31 人
日根野	11 月 12 日（土） 19 時 00 分～	日根野公民館	39 人
南中	10 月 18 日（木） 14 時 00 分～	南部市民交流センター	16 人
中央	11 月 19 日（土） 10 時 30 分～	幸町会館	7 人
二小	10 月 28 日（金） 19 時 00 分～	高松総合会館	21 人

のべ参加者数 333 人（うち書面参加 62 人）

2)当日の内容

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染が徐々に収束に向かい、外出や対面での活動が再開され、コロナと共に生きていくことが当たり前の生活、ウィズコロナに移行してきました。人との接触を極力避けた生活から、感染対策を行いながらもコロナ前の生活に少しでも近づく生活が戻ってきました。

そんな中、これからの活動について考えることに重点を置いたテーマで検討する地区が多くありました。

《令和4年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ
日 新	支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！
佐野台	佐野台地区福祉委員会の今後について
北 中	支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！
三 小	昨年のお話会をふりかえって
末 広	昨年のお話会をふりかえって
一 小	あなたの町の困りごとについて
長 滝	こどもと行って良かったところのエピソードを教えて♪
上之郷	個別訪問活動について
大 土	地域に関するアンケートと地域について
長 坂	支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！
日根野	①防災②地域活動③この町の良いところ④その他 のうち一つ
南 中	南中地区福祉委員会会議の案内文のデータ化に関するアンケート結果の共有
中 央	支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！
二 小	2年後、10年後の地域について

日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

地域の暮らしを話す会の効果

地域の暮らしを話す会で出た意見を参考にしながら、具体的な取り組みにつながった事例が生まれてきています。

増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

地域の暮らしを話す会では、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多くでていました。また、「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声もあがっています。このような声に対する解決策の一つとして、カフェ活動が広がりを見せてきています。

コミュニティカフェのポイント&メリット

①定期的に開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。閉じこもり防止につながる。
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。（体調や都合にあわせて参加できる）
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、新たな企画のアイデアが生まれたりする。
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ

地区福祉委員会が行っているカフェ型活動（令和5年9月現在）

実施地区	場所	開催日時
一小地区 松原団地住宅「ふれあい喫茶」	松原団地ふれあい	毎週火・土曜日 10:00～12:00
三小地区「旭町カフェ」	旭町会館	毎月第3木曜日 13:30～15:30
日新地区「上瓦屋ラウンジ」	上瓦屋町会館	第1・2・4水曜日 13:00～15:00
一小地区「サロン・ド・松原」	松原町会館	毎月第1・3日曜日 10:00～12:00
佐野台地区「西佐野台げんきカフェ」	西佐野台町会館	毎月第3土曜日 13:30～15:30
中央地区「松風台サロン」	松風台自治会館	毎月第2日曜日 10:00～12:00
佐野台地区 南泉ヶ丘「カフェよりみち」	南泉ヶ丘町会館	毎週木曜日（第2週除く） 13:00～15:00
中央地区「中町カフェ」	中町町会館	毎月第3水曜日 10:00～11:30
長滝地区「新長滝カフェ」	長滝住宅集会所	月1回第3土曜日から日曜日 9:30～11:30
一小地区「西本町カフェ」	西本町会館	毎月第3日曜日 10:00～12:00
日根野地区「西上カフェ」	西上町内会館	毎月第2水曜日 13:30～15:00
末広地区 東羽倉崎自治会「おしゃべりカフェ」	東羽倉崎自治会集会所	毎月第4金曜日 11:30～13:30
末広地区 羽倉崎上町「スマイル・カフェ」	羽倉崎上町集会所	毎月第2金曜日 13:30～15:30
三小地区「しんまち茶論」	新町長生会館	毎月第2・4水曜日 10:00～12:00
日根野地区「野々地蔵カフェ」	野々地蔵町内会館	毎月第2水曜日 13:30～15:30
南中地区 樫井東「笑茶話茶カフェ」	樫井東会館	毎月第1日曜日 9:00～11:00
末広地区 東羽倉崎南町「ふれあい喫茶なでしこ」	東羽倉崎南町自治会館	毎月第2金曜日 13:00～15:00
日根野地区「新道出力カフェ」	新道出町会館	毎月第1金曜日 14:30～16:30
佐野台地区 西佐野台「みんなの茶の間」	西佐野台町会館	毎月第1・3水曜日 13:30～15:30
長坂地区 新泉ヶ丘「ふれあいモーニングカフェ」	新泉ヶ丘集会所	毎月第3土曜日 8:00～11:00
北中地区 鶴原中央住宅「喫茶たんぽぽ」	鶴原中央住宅集会所	毎週月曜日 8:00～11:00
長坂地区 泉ヶ丘「一杯のコーヒー」	泉ヶ丘か町内会館2F	毎月第3日曜日 9:30～11:00

その他、これまでの「地域の暮らしを話す会 実施報告書」に掲載した事例

平成 26 年度 実施報告書	買物支援の取り組みが動いた事例 成年後見に関する取り組みを後押しした事例
平成 27 年度 実施報告書	長滝中ノ番子育てサロンの設立 旭町カフェの設立 町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み 買物支援の取り組みが動いた事例（27 年度の取り組み加筆版）
平成 28 年度 実施報告書	中町カフェの設立まで 樫井東自主防災会の設立と防災訓練の実施まで
平成 29 年度 実施報告書	西上カフェの設立まで PDCA サイクルを取り入れた災害に強いまちづくりに向けた取り組み【長滝地区】 泉陽ヶ丘支部福祉委員会の取り組み
平成 30 年度 実施報告書	土丸支部福祉委員会の花見大会の取り組み 平成 30 年台風 21 号被害の経験を今後活かすために
令和元年度 実施報告書	「担い手」に関する意見、たくさん出ました！ 長滝地区福祉委員会の年間を通した話す会（事業調整会議）の実施
令和 2 年度 実施報告書	地域での新たな話し合いの場づくり
令和 3 年度 実施報告書	コロナ禍における地域活動について～協力員・子育てサロン参加者の声をカタチに～

事例の詳細は、それぞれの年度の報告書をご覧ください
（泉佐野市社協ホームページに PDF 版を掲載しています）<https://izumisanoshakyo.or.jp/>

ミニコラム

社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています。社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法（コミュニティワーク）を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援 …会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援
…運営の助言や、他地域の活動見学の調整など
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知
…サロン活動の紹介（小地域ネットワーク活動報告集会等での発表の場づくり）など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成
…ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能
…ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などが連携できるように間で調整を行う、など

各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見
(ふせんに書かれた意見など)を、すべて書き出しました。

日新地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年12月12日（月） 18時30分～19時30分

場 所：ホテルニューユタカ

参加人数：43名（中庄11名、上瓦屋11名、湊11名、泉陽ヶ丘10名）

テ ー マ：支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！

中庄支部

今ある活動

- ・寄せ植え
- ・花見会
- ・七夕まつり
- ・大衆演劇
- ・子育てサロン



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・子ども参加のクリスマス会
- ・ミニ電車の復活
- ・長生会の元気塾、カラオケに福祉委員会も参加したい



そのためにすること

- ・ミニ電車の復活

上瓦屋支部

今ある活動

- ・上瓦屋ラウンジ
- ・クリーングリーン町内清掃
- ・絆登録（約70名）
- ・災害時のタオル確認
- ・季節の花を見ることができる



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・上瓦屋ラウンジの時間を利用してゲーム（トランプ等）をしたい
- ・上瓦屋ラウンジの参加者を増やしたい
- ・高齢者の安否確認を継続する
- ・現状の活動を継続
- ・絆登録者の再確認
- ・やってもらいたいことを頼めるお助けカード
- ・隣近所の人々で助け合いができる様な親密さの深いまちづくり



そのためにすること

- ・町会に協力してもらう
- ・隣組長さんと連携
- ・町会役員等の顔を知ってもらう

- ・回覧版を回すときチャームを押して手渡す
- ・各行事参加への呼びかけ方法等を工夫する
- ・独居高齢者の把握
- ・独居高齢者へお弁当を安く配達する（市への要望）

湊支部

今ある活動

- ・子育てサロン
- ・湊サロン
- ・ディスコン
- ・卓球
- ・挨拶運動



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・子育てサロンの参加者を増やしたい（保健師の参加回数を増やす）
- ・湊サロンの参加人数を増やしたい
- ・ディスコン、卓球の町内大会の開催



そのためにすること

- ・体験者の声かけ
- ・麻雀を取り入れる
- ・健康、美容講座を取り入れる
- ・施設見学（ヤクルト、ビール、むか新など）
- ・出前講座を取り入れる
- ・料理教室を開く

泉陽ヶ丘支部

今ある活動

- ・週一回の安否確認訪問
- ・年一回の福祉会
- ・元気塾
- ・さのトレ体操



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・元気塾への参加者を増やす
- ・ボランティアを増やす
- ・地域内に空き家と空き地が増えているので把握する
- ・自治会加入者が減少傾向、未加入者にも共益費を負担してもらいたい



そのためにすること

- ・自治会役員の福祉への参加
- ・福祉は足でかせぐ
- ・安否確認訪問は複数人でまわる
- ・防災訓練で親と子ども一緒に参加してもらう
- ・浄化装置を使用し新池中学校

佐野台地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年12月7日（水） 11時00分～12時30分

場 所：南泉ヶ丘町会館

参加人数：4名（佐野台1名、西佐野台1名、東佐野台1名、南泉ヶ丘1名）

テ マ：佐野台地区福祉委員会の今後について

佐野台地区

運営面

- ・地区福祉委員会の役員が見つからない（支部福祉委員会なら見つかる）
- ・担い手の不足（高齢者がほとんどで、若い世代がいない）
- ・高齢化のため地区福祉委員会の活動を増やすことは難しい
- ・地区福祉委員会役員の仕事内容が分からず、大変というイメージが強い（具体的な仕事内容が分かればそうでもないと思う）
- ・臨機応変に役員の輪番制を変更する必要がある（役を出せない支部も出てきている）
- ・輪番制を変更すると今までのベースが崩れるので、基本ルールは守るべき
- ・今までの地区活動の流れを着るつもりはないが、役員等の負担を軽減することは必要（必要のない役を無くす、会議の回数を減らす、仕事内容の簡素化、など）
- ・若い世代に長く続けてもらえるよう、やり方に口をはさみ過ぎないようにする
- ・支部活動がメインになっているが、地区活動で顔を合わせることは大切

その他

- ・一昔前の福祉に対する悪いイメージが先行しているように思う
- ・「福祉＝困っている人」のイメージが強いのではないか？
- ・若い人は働いているので福祉活動のことを考える余裕はないと思う
- ・若い人が福祉活動に触れる機会がない
- ・若い世代は活動に参加してくれるが協力はあまりしてくれない
- ・若い世代に積極的に声かけし、福祉活動の魅力を知ってもらう必要がある
- ・行事に参加する人の送迎が必要（負担に感じるが頼まれると断れない）
- ・最近の子どもは室内遊びが多いので、地域活動で走り回る機会も大切
- ・年度末の報告書作成が大変なので追う少し簡素化してほしい
- ・話を聞いて賛否を取るだけの理事会参加は意味があるのか？
- ・協力員の意見を聞き、社協も柔軟に対応してほしい（時代に応じて変わってほしい）

北中地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年11月28日（月） 19時30分～20時30分

場 所：鶴原町会館

参加人数：24名（鶴原9名、下瓦屋9名、鶴原中央住宅6名）

テ ー マ：支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！

鶴原支部

今ある活動

- ・ふれあいサロン
- ・鶴っ子クラブ
- ・カラオケサロン



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・お年寄りと若い人との交流



そのためにすること

- ・2月の定例会で決める

下瓦屋支部

今ある活動

- ・見守り訪問
- ・くつろぎクラブ
- ・世代間交流
- ・誕生日プレゼント配り
- ・登下校時見守り
- ・寄せ植え交流会



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・あいさつ運動
- ・ボランティア活動
- ・おしゃべり会
- ・道路清掃

今ある活動

- ・ラジオ体操
- ・喫茶たんぽぽ
- ・高齢者安否確認
- ・中央サロン
- ・コープ移動販売
- ・世代間交流
- ・居場所づくり



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・子ども食堂
- ・子ども広場の整備
- ・子どもと高齢者の世代間交流



そのためにすること

- ・子どもの居場所づくりを行う
- ・子どもが参加したくなるメニューを考える
- ・ホットプレートで子どもたちにホットケーキを焼いてもらう
- ・子どもの料理教室を行う
- ・昔遊びの中央住宅版を行う
- ・食べるだけでなくゲーム以外の何かを行う

三小地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年12月17日（土） 10時00分～11時00分

場 所：新町会館

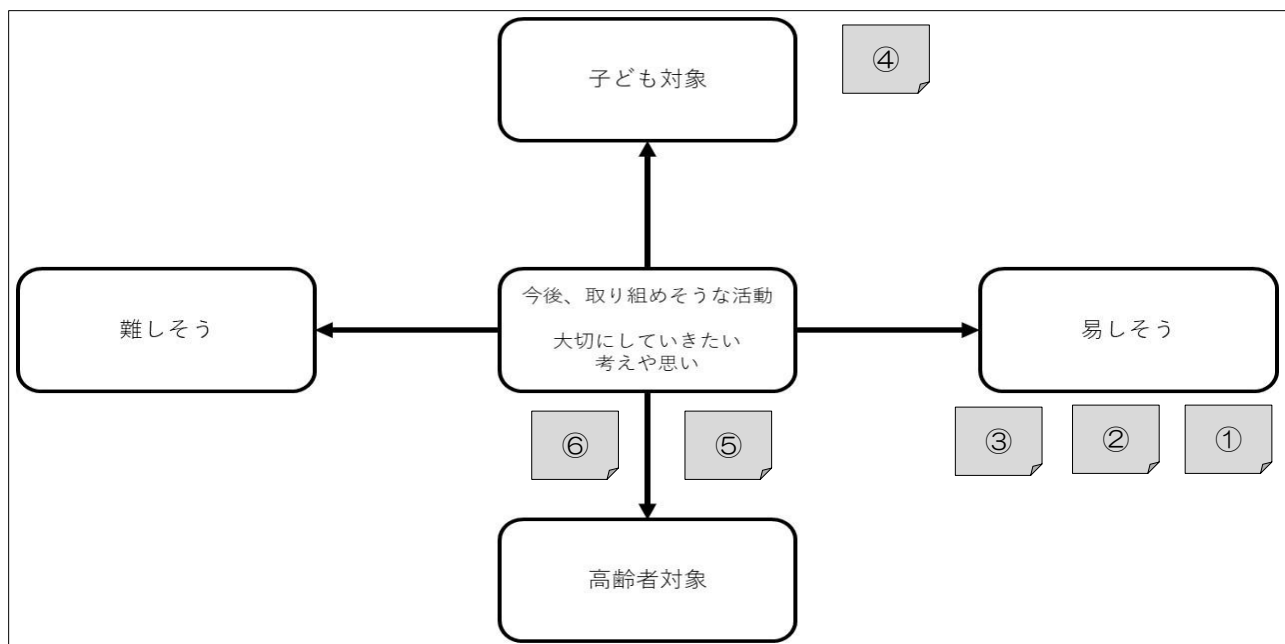
参加人数：16名（新町7名、春日町7名、旭町2名）

テ ー マ：昨年の話す会をふりかえって

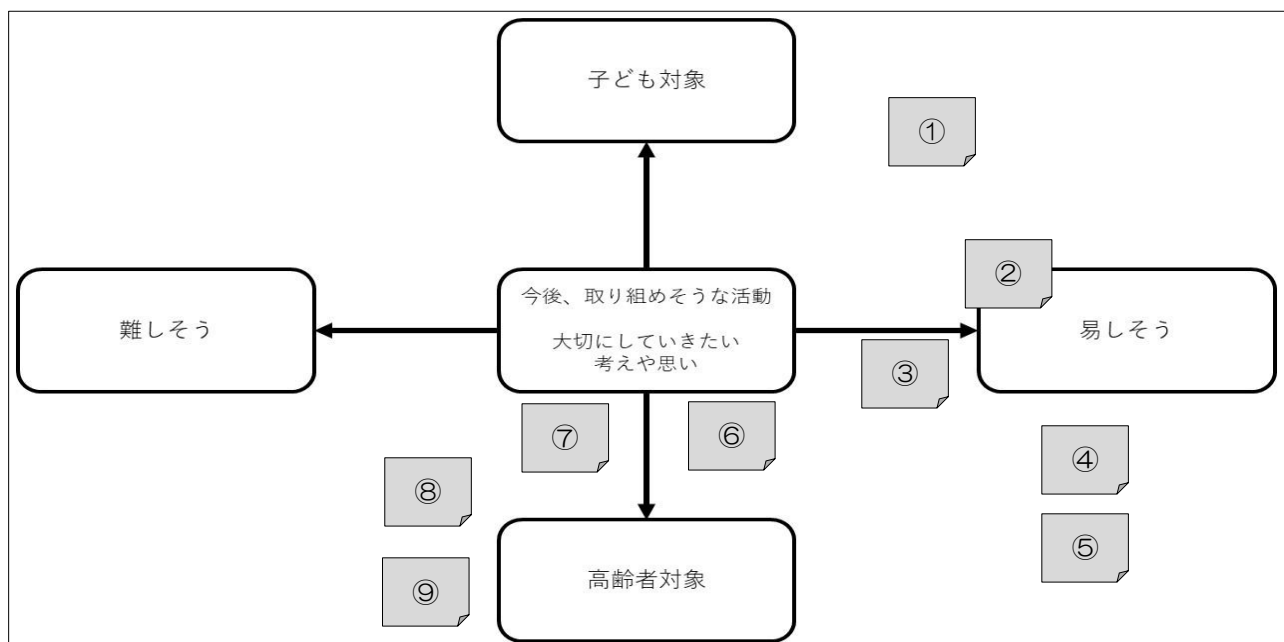
春日町支部

地域課題（心配なこと・不安なこと等）の対応策として上がった意見

- ①コープ、その他店側&その他配達や送迎などを調べてみる。
- ②高齢者の今の買い物方法を調べてみる。
- ③買い物の手助けをする。
- ④登下校時の児童や先生と挨拶をする。
- ⑤カフェを開催する。
- ⑥協力員・役員の高齢化、人手不足。

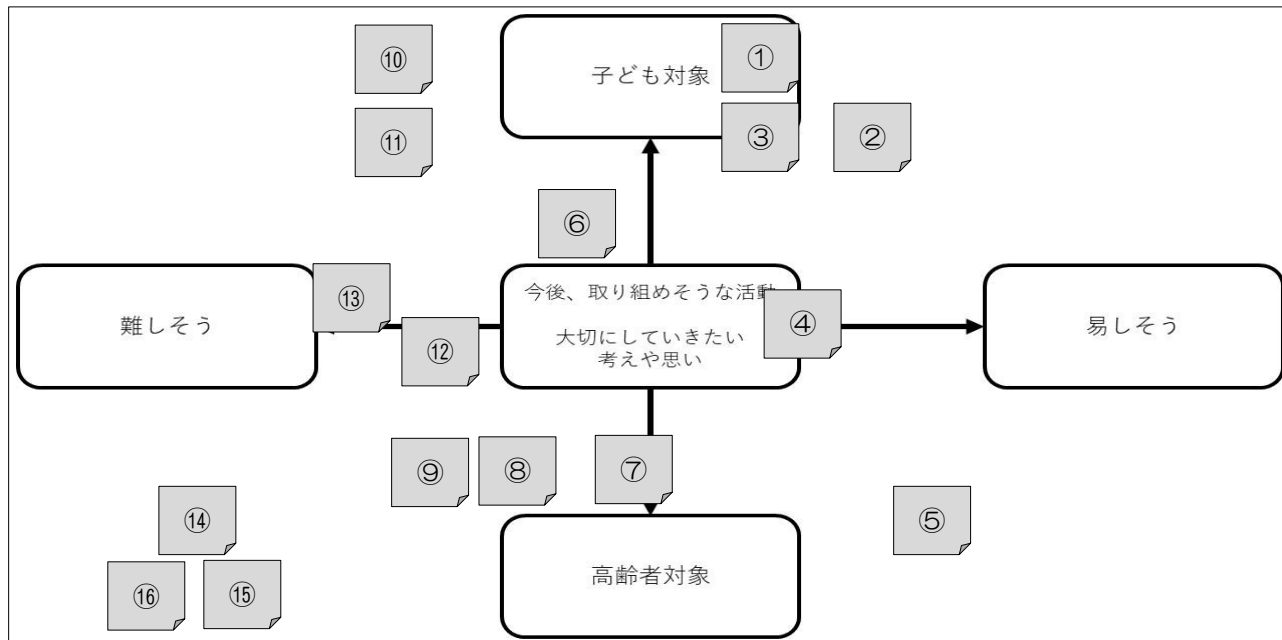


地域課題（心配なこと・不安なこと等）の対応策として上がった意見
①学校と地域が話し合う。
②町内中広く参加者を募集する。
③支援者を回覧 or 掲示で募る。
④しんまち茶論で昔遊び（あやとり等）をしてもらう。
⑤カフェやサロンの場で活動者を求める。
⑥従来通りの登下校の見守りをする。
⑦従来通りの見守り・安否確認をする。
⑧新たにスマホ教室の開催
⑨新たにファッション・美容（若返り）の指導教室の開催。



地域課題（心配なこと・不安なこと等）の対応策として上がった意見

- ①地区関係なしの子育てサロンを今後も続けていきたい。
- ②子育てサロンは親子共々、広い場所（会館）でノビノビする。
- ③子育てサロンを続けることで、孤立を防ぐ。
- ④挨拶を心がけ、信頼関係を築いていく。
- ⑤この活動を町内に広く知らせる。
- ⑥いろいろな活動を三町で取り組む。
- ⑦引き籠りがちな高齢者のための居場所を作る。
- ⑧参加しやすい場所（雰囲気）をつくる。
- ⑨高齢者の方が参加できる活動を考える。
- ⑩季節のイベントを続け、みんなで楽しむ。
- ⑪学校への見守り強化。事故防止。
- ⑫グループ支援活動のリーダーを育成する。
- ⑬若い協力員の方々を募る。
- ⑭男性が参加しやすいサロンを作る。
- ⑮男の人も多く集まれる場所を作る。
- ⑯サロンの参加者で特に女性が多い。多くの男性に協力を求める。



末広地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年12月15日（木） 19時00分～20時00分

場 所：東羽倉崎南町集会所

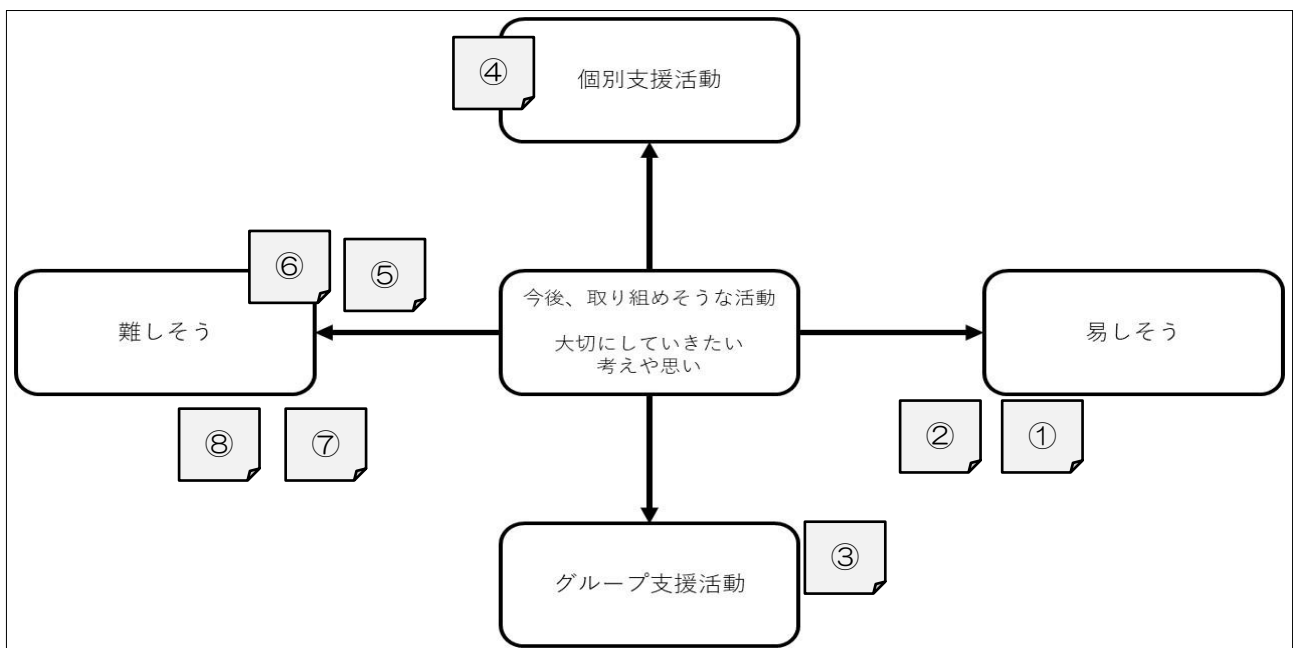
参加人数：23名（新安松町 4 名、羽倉崎上町 3 名、東羽倉崎南町 3 名、長滝第一住宅
4 名、東羽倉崎町 4 名、東羽倉崎自治会 5 名）

テ ー マ：昨年のお話をふりかえって

新安松支部

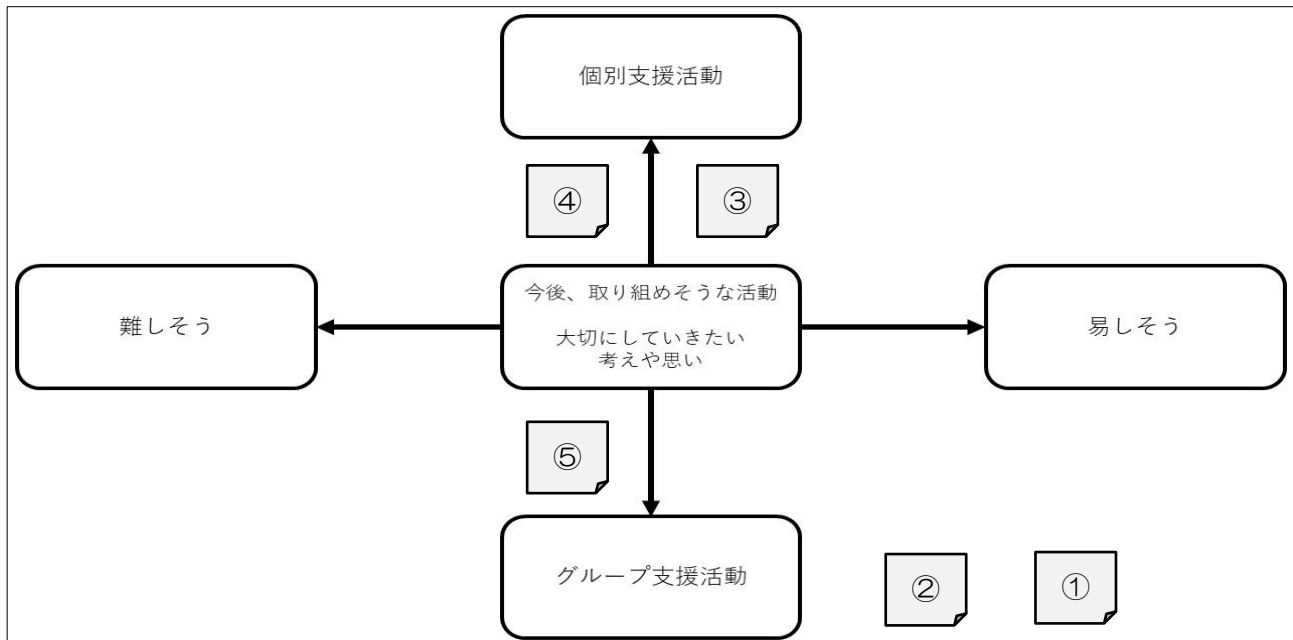
地域課題（心配なこと・不安なこと）の対応策として上がった意見

- ①茶話会等で高齢者の意見を聴く。
- ②顔の見える町会へ。年に1度パトロールを実施する。
- ③グループ支援は充実している。交流会。情報共有。
- ④安否確認訪問はほぼ充実している。
- ⑤イベントに参加する人数の増加。
- ⑥次世代の協力員さんを見つける。
- ⑦将来、協力員不足。
- ⑧ネット対象者が知り合い（交流）少ない。



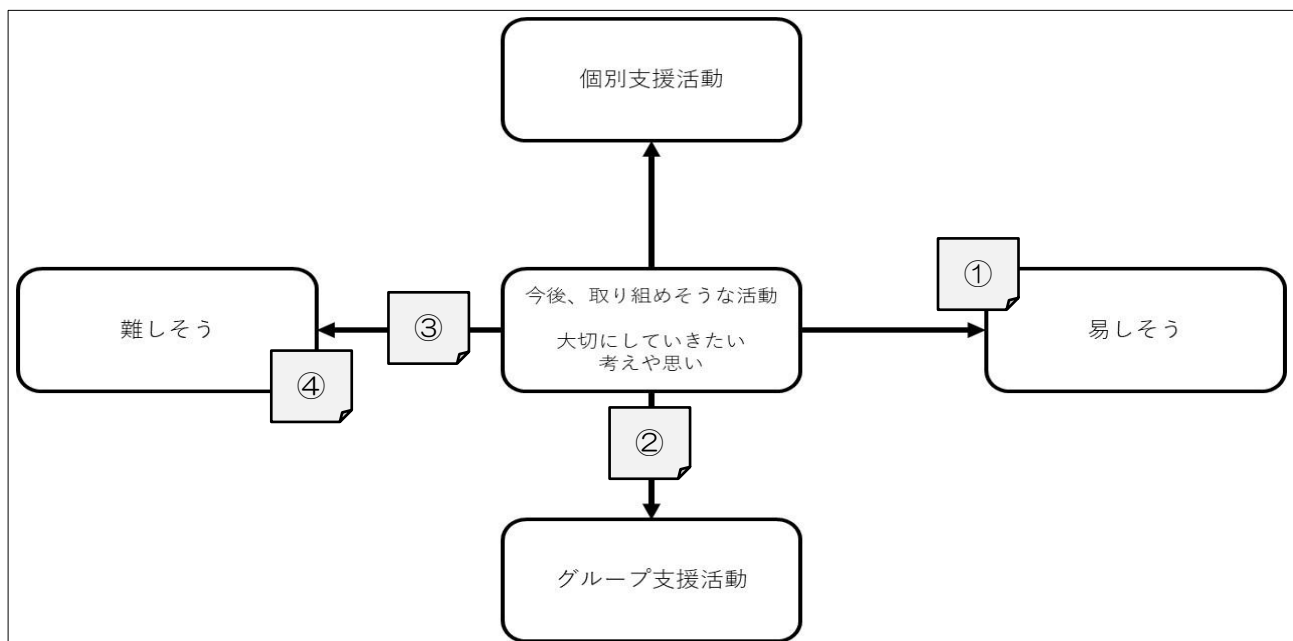
地域課題（心配なこと・不安なこと）の対応策として上がった意見

- ①グループ分けをしてディスコンをしたい。
- ②カフェ活動の再開。
- ③月1回を2回開催することによって、人数が分散できる。
- ④マスク着用でもできることを考える
- ⑤分割開催で人数調整し、イベントを開く。



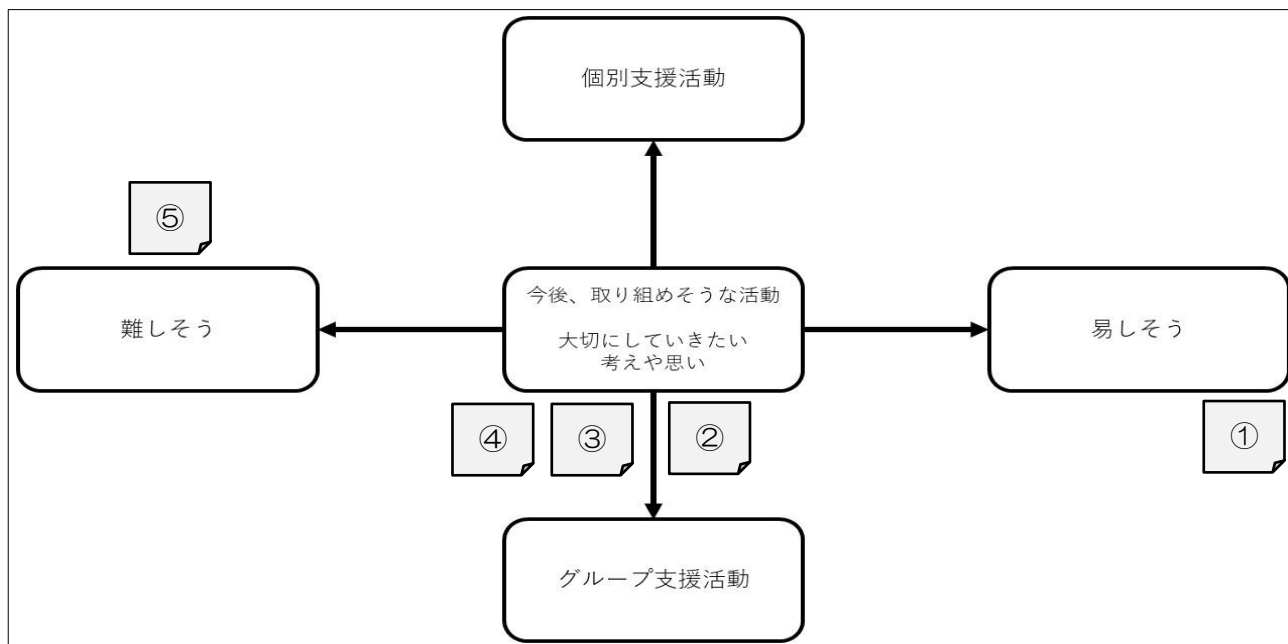
地域課題（心配なこと・不安なこと）の対応策として上がった意見

- ①脳トレやトランプカードを使ったサロン。
- ②カフェの来客数を増やしたい。
- ③協力員の担い手不足。
- ④引き籠りを連れ出す。



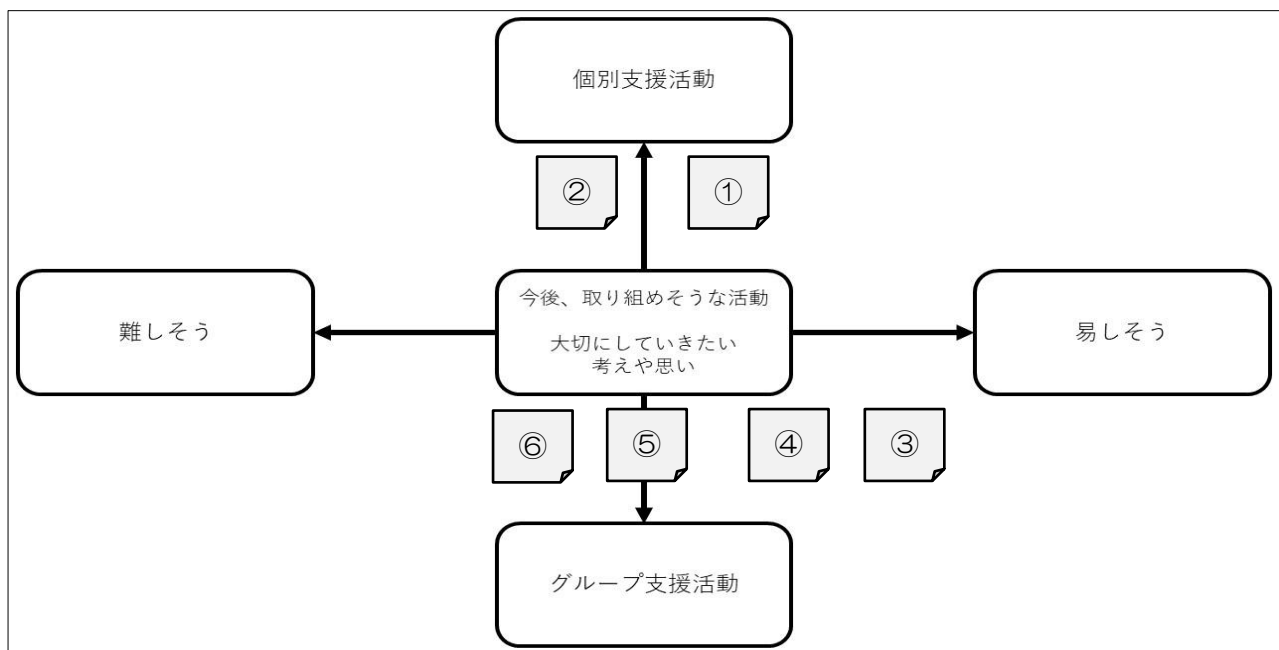
地域課題（心配なこと・不安なこと）の対応策として上がった意見

- ①誰でも参加できるような雰囲気づくり。
- ②交流会の席順を今一度確認する
- ③社協へ出前講座を依頼する
- ④100円で誰でも参加できる茶話会を立ち上げたい
- ⑤安全パトロールが厳しい。



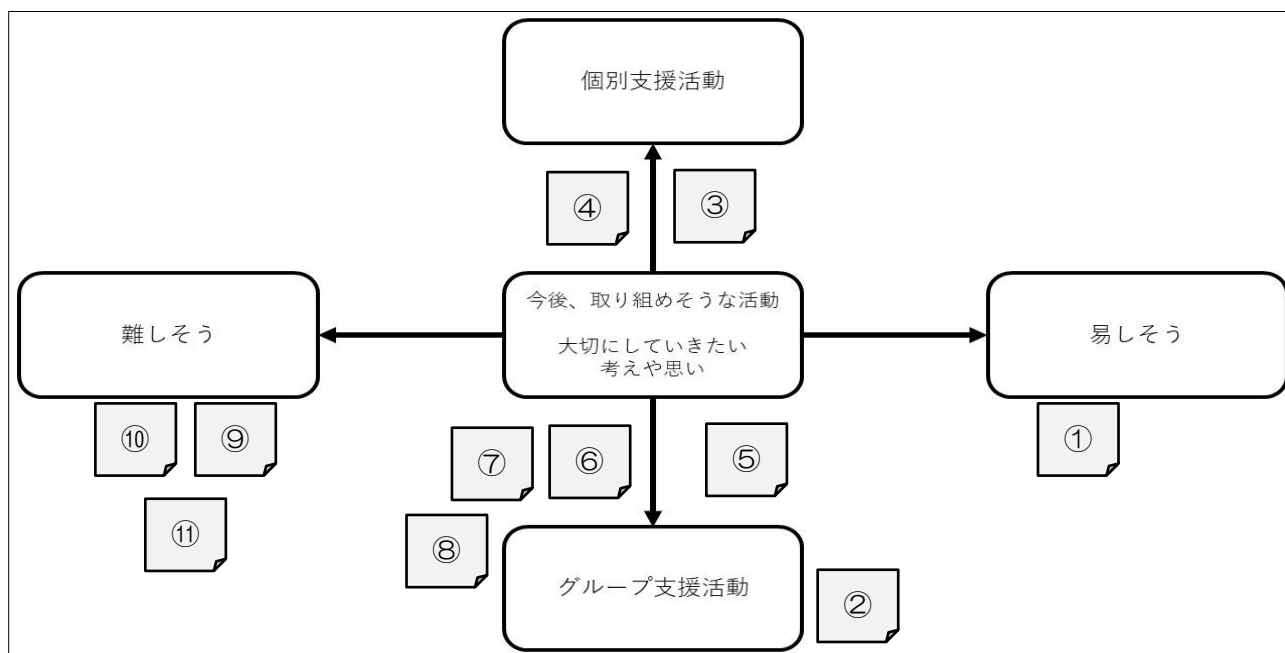
地域課題（心配なこと・不安なこと）の対応策として上がった意見

- ①訪問活動を月2回、ミカソすみれを月4回継続していく。
- ②一層の充実。
- ③子どもたちへの支援活動
- ④町会名簿の再確認。年齢分布など。
- ⑤実態把握。
- ⑥全世代対象の取り組み。



地域課題（心配なこと・不安なこと）の対応策として上がった意見

- ①ネット対象者以外の人にも会ったら声かけするようにしている。
- ②コロナが終息したら、集会所に集まって交流を深めたい。
- ③コロナが少しでも収まれば、個別訪問も増やしていきたい。
- ④外で会った時には、必ず声をかけさせていただきます。（対象者以外にも）
- ⑤コープ買い物バスは重たい荷物の時は家まで運ばせていただいています。
- ⑥コープ販売時に安否確認もでき、話しをするのが楽しみで買い物に来る。
- ⑦カフェに関しては、今以上の話題は負担となる。
- ⑧カフェ開催前には口頭で伝えたり、LINE 送ったりして伝えることにしている。
- ⑨現在、協力員2名増えて助かっています。今後も増えることに期待する。
- ⑩自治会と福祉委員会と一緒に話し合う機会が欲しい。コロナ禍では難しい。
- ⑪安全パトロールについては、人数が増えるのを望みます。



一小地区 地域の暮らしを話す会

※今年度はアンケートを実施（9月末）。集計結果を推進委員会で共有。

回答数：62通

〔本町：8名、元町：5名、野出町：6名、西本町：8名
笠松町：12名、松原町：10名、松原住宅：6名、羽倉崎町：7名〕

テーマ：あなたの町の困りごとについて

① あなたの町の困りごとについてあてはまるものをすべて選んでください。
・『高齢者や障がい者、介護が必要な人にとって住みづらいと思われる』 8名
・『子どもや子育て世代にとって住みづらいと思われる』 …………… 5名
・『もし災害が起きたときに避難できるか心配』 …………… 37名
・『ゴミ捨てや動物多頭飼いなど近隣でトラブルがある』 …………… 13名
・『将来、地域活動の担い手がない』 …………… 46名
・『地域住民同士の交流が少ない』 …………… 21名
② ①についてあなたの町で取り組めることはありますか？
・避難に手助けが必要な方を把握し、災害時はすぐにそのお宅に行けるように、日頃から地域の状況を声かけして知る。
・どういう活動をしているかを知ってもらって、参加してもらえればなと思う。
・地域住民同士の交流をこれまで以上に継続していく。
・ゴミの分別や動物の糞の後始末ができていないことが多々あり、回覧板や注意書きを貼っている。
・若い方は日中勤めているので仕方がないが、町全体にボランティア啓発をする必要があると思う。
・活動を住民に知って貰うこと。
・同好会、親睦会を開催する。
・防災をきっかけに新しい担い手の発掘と育成が必要。
・助け合い精神を共有し、交流を進める。
・住民同士の交流や防災訓練を通して、福祉委員会を知ってもらう。
・若い世代をターゲットにしたカフェやバザーを試みるのもいいかも。
・防災訓練を実施し、防災力を強化する。
・世代間交流などで地域活動の大切さを把握してもらう。
・避難訓練を実施すべきだと思う。
・少しずつカフェを再開していきたい。
・町へ移ってこられた方に積極的に声かけに行くことが大事。
・最近引っ越ししてきた家庭が活動に参加されないことで、交流が少なく感じる。
・若い主婦の方々が参加しやすいイベントを企画する。
・様々な催しをするためには福祉委員会で話し合いをし、少しずつの考えからまとまっていけたらいいと思う。

・夏休みなど給食のない子どもを対象に地域で見守りできればと思う。
・自主防災会の組織編制があり、若い人に参加してもらうように声かけする。
・福祉委員会の会合にも一般の町民に参加してもらう。
・高齢者の避難は準備と訓練が必要だと思う。

③ その他（福祉委員会について自由記述）
・ボランティアが高齢化してきているので、若い方に協力員としてもっと入って欲しい。
・一小地区内での交流を増やしてもいいかも。
・役員の高齢化といつも同じ人が役員をしている。
・民生委員児童委員さんが協力員に相談してくれる。住民方々も喜んでおられる。
・スーパーや店まで歩いて行くには遠い。「とくしまる」のような移動スーパーがあれば便利だと思う。
・独居高齢者以外にも高齢者世帯（80 歳以上ぐらい）のところへの訪問も必要に感じる。
・会館の利用が少ないので、利用増をめざしたい。
・野良猫のエサやりがあり、注意しても言うことを聞いてくれない。
・コロナ禍で活動が規制される。

長滝地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年5月5日（木） 10時00分～11時30分




場 所：長滝第一町内会館






参加人数：25名（＋ワークには加わっていないが、子ども12名）

テ－マ：子どもと行って良かったところのエピソードを教えて♪

（※子ども視点の意見には『』マークを付けています。）

1 グループ

① 子どもと行って良かったところや楽しかったところのエピソードなど♪	
長滝（近場）・日常	
	ゆめの森公園 ⇒ 遊具・大きいスベリ台
	和歌山自然史博物館 ⇒ 大きな水槽があって大きな魚いました！
	とんぼ池 ⇒ 走り回る
	マリーナシティ ⇒ 花火
	梅田スカイタワー・大丸トミカショップ ⇒ 子どもとデート気分になれた
	りんくう ⇒ 海が近い
	みさき公園 ⇒ 動物園、水族館・遊園地、近くて行き良い
	和泉丘陵公園 ⇒ 芝生広場、広くて遊べる


遠出・非日常	
	ディズニーランド・ゆめの国
	白浜アドベンチャーワールド
	福井恐竜博物館 ⇒ 動く恐竜がある
	心斎橋パルコ5F?、6F? ⇒ ウルトラマンや、すみっコのお店
	BMX 場（岸和田） ⇒ 自転車に乗れたらお安く楽しめる


② こんなところがあったらいいなぁ♪こんなものがあったら楽しそう♪	
長滝（近場）・日常	
	歩道がほしい
	大型スーパー・100均
	公園、近くに欲しい
	南の池公園も人目が無さすぎて心配
	深い溝が危ない
	村中に歩道がほしい


2 グループ

① 子どもと行って良かったところや楽しかったところのエピソードなど♪


長滝（近場）・日常

 蟻通神社 ⇒ 虫取り、鯉にえさやり

 りんくう公園 ⇒ 内海で貝を集めたり砂遊び


 上之郷公園 ⇒ お弁当を食べたりちょうちょを捕まえたりどんぐりを拾った


 末広公園 ⇒ 花見


 子育てサロン ⇒ 子ども達、スタッフさん、ママ達との出会い


モンブランくりとくら ⇒ 美味


遠出・非日常

 和歌山キャンプ ⇒ 新城（かつらぎ町）、加太、大島（潮岬）

 吹奏楽のコンサート

 アドベンチャーワールド

 道の駅・四季の郷 ⇒ アウトドアを楽しめて食事も外でゆっくりできた

 淡路島ニジゲンノモリ

② こんなところがあったらいいなぁ♪こんなものがあったら楽しそう♪

長滝（近場）・日常

室内で遊べる場所、キッズニアみたいな所






和歌山市立図書館のような図書館


りんくうとかに中華街




コストコのフードコーナーだけ

BBQ できるところ

3 グループ

① 子どもと行って良かったところや楽しかったところのエピソードなど♪ (子ども視点／遠出・非日常)
長滝(近場)・日常
 自転車修理屋
 トイザラス ⇒ 嬉しそうな顔が見れる
 公園
 イオン・ゲームセンター
 子育てサロン
じいじ・ばあばの家
イオン、大型スーパーめぐり

遠出・非日常
 アンパンマンミュージアム
 宇都宮祭り
水間の旅行

② こんなところがあったらいいなぁ♪こんなものがあったら楽しそう♪(長滝で)
長滝(近場)・日常
 おしゃれなカフェ
 おいしいパン屋さん
 おいしいそば屋
ずっと開いてる子育てサロンみたいなスペース ⇒雨でも寒くても暑くても(開いている)場所
なんでも屋
長滝駅にエレベーター
銀行
ラーメン ⇒ 横綱とか

上之郷地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年11月24日（土） 19時00分～20時00分

場 所：上之郷コミュニティセンター

参加人数：20名（母山2名・机場3名・女形3名・上村4名・中村4名・下村3名・郷田1名）

テ ー マ：個別訪問活動について

母山・郷田支部

①普段の活動
個別訪問は月1回～2回は民生委員が行っている
一人暮らしの高齢者にご機嫌伺いをしている。何か生活で困っている事はないですか。
②活動する上で困ること
自分の覚えている人の話や、今どうしているのかと聞かれるので個人情報のこともあるので困る
耳の遠い人はチャイムも聞こえず、玄関を開けてもらえない
玄関に入れないのでヘルパーが来ているときに訪問する
寝たきりの人の家族はもう訪問しないでと言われ、表にヘルパーの車が止まっているか同課で生存確認をした
③もっとこうしていきたい！
台風などの災害時の避難準備の応援システムを徹底してほしい
協力員になってくれる人がもっと欲しいが誰も希望者はない
孤独死は避けたい
介護隣
将来的に不安がある人が未来に希望を持てるような支援が欲しい
④引継ぎについて
女性宅に男性が訪問するのが難しい
周りに訪問介護が必要な人が多く、将来的に不安です
⑤ ①～④についての対策やアイデア（自分たちでできること）
シルバー人材センターの人たちを無料で暮らしの助けになる清掃などを行ってほしい

机場支部

①普段の活動
月1回～2回民生委員が行っている。もっと増やしても良いのか、しつこいか？
行って「元気ですか？」「困っていることはないですか？」確認
抜き打ちで留守のことも多い

②活動する上で困ること
特になし
元気ですか、困りごとないですか、と言うだけ
母山までの道はトラックが通っていて危ない。ながら運転や、子どもが転んだこともあった。事故にならないか
まつたけ交流会がコロナで3年でできていない。マンネリ化するので変化を
さわやか交流会の参加者が入院などで人数が減った。増やす努力を
④引継ぎについて
さわやか交流会、まつたけ交流会などの人の集まりについて考える必要性あり

女形支部

①普段の活動
協力員が秋祭りでの集いの案内を配った
今日の講座の案内を配った
「なんできたんや」「きていなんのに」と拒否されると行きにくくなる。まあいっか
家族の見守り・つながりは強いので民生委員がいなくても……
②活動する上で困ること
お留守の時はポストに入れてお話ができなかった
一人暮らし訪問して良いか
玄関に入れないのでヘルパーが来ているときに訪問する
寝たきりの人の家族はもう訪問しないでと言われ、表にヘルパーの車が止まっているか同課で生存確認をした
⑤ ①～④についての対策やアイデア（自分たちでできること）
高齢者の人が楽しく集まれるイベントを考える
不在時、訪問したことを伝えるメッセージを入れる
福祉協議会の方から「お年寄りが元気です」というタオルを作って欲しいです
声掛けじゃなくても、安否確認としてピンクのタオルをかける
引きこもりがちになっているので、ラジオ体操やボッチャなど身体を動かすイベントも良いかも。

①普段の活動
無理には進めないが、協力しあう気持ちを大切に
子育てサロンのあり方を考える
高齢になるとイベントに参加できない方をどう呼びかけるか？
一人暮らし高齢者を民生委員が月 1 回訪問
催しの案内を協力員が配るときに声掛け
②活動する上で困ること
上小の子は自発的に挨拶してくれる、しかし反面知らない人に声掛けられる
留守が多い。元気な人は外出。具合の悪い人はデイサービスなど
③もっとこうしていきたい！
ほめることも声を大にして
上之郷では身内や近所付き合いがあって孤立した高齢者は少ない
防災訓練の参加の声掛け
昔の思い出作り、おてだま、わらそうり、あやとり etc
④引継ぎについて
前任の民生委員と後任が一度は一緒に訪問する
⑤ ①～④についての対策やアイデア（自分たちでできること）
交流会などの催しを開催してもあまり集まらない
PR を工夫する
出し物を考え、楽しい催しになるよう考える
お年寄りの遊びを小学生に教えるような機会をつくる

①普段の活動
一人暮らしの方への最低 1 ヶ月に 1 回程度民生委員が午前・午後に分けて 1 件ずつ訪問 5 分～10 分間程度。午前に留守の場合は夕方再度訪問
②活動する上で困ること
困ることはないが相手のペースに合わせ聞くことに専念することを心掛けている
③もっとこうしていきたい！
コロナで中断しているイベントなどを復活させたい。
例えばにこやか交流会（観劇・花見など）
④引継ぎについて
中断している行事を復活させていくことで引き継いでいく
⑤ ①～④についての対策やアイデア（自分たちでできること）
交流を深めるため、上之郷地区全体の行事（集まり）ができないか
小学校の授業見学

大土地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年2月11日（土） 19時00分～20時00分

場 所：土丸町会館

参加人数：15名（大木6名・土丸9名）

テ ー マ：アンケート結果の共有と地域について

（アンケートは、ネット対象者や参加者・参加者家族などを対象）

大木支部

アンケート結果（テーマ：あなたの住む町について）

★あなたの性別は						
男性				女性		
15				14		
★あなたの年齢は？						
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1	1	2	0	3	11	9
★大土地区での生活は						
住みやすい		まあまあ		住み辛い		将来は出たい
2		19		6		1
★交通手段は						
南海バス	自家用車	バイク	自転車	その他		
3	24	1	0	0		
★何の目的で利用されていますか（複数回答可）						
通勤		通学		通院		買い物
9		2		8		18
バスの本数について						
満足		まあまあ			少ない	
0		3			6	
バスの割引券は						
利用している		利用していない			知らない	
4		5			0	
食料品・日用品の買い物に						
問題ない				困っている		
23				4		
近所トラブルは						
多い		少ない			問題ない	
0		5			23	

住民同士の交流は			
多い	普通		少ない
0	22		6
地域（福祉）活動について			
多い	普通	少ない	知らない
0	16	9	2
かかりつけの病院が			
ある		ない	
23		6	
一人で病院へ			
いける	家族の付き添いがいる	病院の送迎バスを利用	
23	1	0	
災害時について集まる場所は			
知っている		知らない	
27		0	
災害時について頼れる人や連絡先は			
いる		いない	
25		0	
自然環境について			
満足	普通	不満	困っている事がある
6	16	3	1
近くに有れば便利だと思う施設は			
ある		ない	
15		6	
現町会組織の他に有れば良いと思われる団体は			
ある		ない	
0		24	

地域について
・町会役員や、団体役員への成り手がいない。役職数を減らすべきだ。
・コミュニティバスの運行を市へ迫るべき……迫るには「町会」だけでなく個々も声を上げるべきだ。
・立地や交通事情が異なる他所の町会との比較での主張では、理論がずれる
・世帯や人口減は致し方なしとして、交流人口を増やしたい
・住民としては、お客さんの対応ではなく、「自分も地域を支える一員である」との意識啓発を図りたい……が具体策はわからない。
・新住民、外部の訪問者にも門戸を開く意識の形成……そのための学び会を企画したい
・行事ごと参加に興味をもってもらい、そこから地域での自分の存在感を感じてもらう習慣をつける

アンケート結果（テーマ：あなたの住む町について）

★あなたの性別は						
男性			女性			
27			35			
★あなたの年齢は？						
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
3	4	1	5	9	7	33
★大土地区での生活は						
住みやすい		まあまあ		住み辛い		将来は出たい
17		34		3		4
★交通手段は						
南海バス	自家用車	バイク	自転車	その他		
14	41	4	2	3		
★何の目的で利用されていますか（複数回答可）						
通勤		通学		通院		買い物
19		2		27		43
バスの本数について						
満足		まあまあ			少ない	
0		3			14	
バスの割引券は						
利用している		利用していない			知らない	
12		4			2	
食料品・日用品の買い物に						
問題ない			困っている			
48			13			
近所トラブルは						
多い		少ない			問題ない	
1		7			53	
住民同士の交流は						
多い		普通			少ない	
2		39			21	
地域（福祉）活動について						
多い		普通		少ない		知らない
2		35		6		16
かかりつけの病院が						
ある			ない			
59			12			
一人で病院へ						
いける		家族の付き添いがいる			病院の送迎バスを利用	
43		12			4	

災害時について集まる場所は			
知っている		知らない	
61		1	
災害時について頼れる人や連絡先は			
いる		いない	
65		6	
自然環境について			
満足	普通	不満	困っている事がある
19	38	1	2
近くに有れば便利だと思う施設は			
ある		ない	
49		11	
現町会組織の他に有れば良いと思われる団体は			
ある		ない	
2		56	

地域について

- ・アンケートの結果では、地域活動について「知らない」という人がいる。
- ・地域活動に入っていないと知らないし、わからない。活動しないとわからないことも。
- ・細かいことはわからないところもある。
- ・集まる場所が多くなればもっと知ってくれるのでは
- ・行事があることを根付かせる必要がある
- ・回覧で地域活動の広報はしているが、次の人が待っていても、回覧を止めてしまう人がいる、回覧は回さなければ。
- ・班によっては、回覧がストップしてしまうので最初から2つ回していると ころもある。うまく機能している。
- ・活動したい人をあつめるのは難しい
- ・出たがりや！と思われる
- ・町の役は「おいしい思いをしている」と考えているひともいる
- ・「わかってくれるひとがいる」と思わないとやっていけない
- ・役が当たるのが嫌だからとずっと同じ世帯主にしているところもあり、実態と合っていない人がいる
- ・土丸には青年団がないので、すべて町会で解決する形になる
- ・年間の中でやれること（行事）は限られてくる。
- ・継続させるのが大変
- ・すべてを効率化して、「〇〇月はこれ」とすればどうか
- ・行事を4つ柱に建てて、中身をどうするか考える、「何をするか」から決めるのがよいのでは。
- ・行事の時に粗大ごみの回収BOXを設置しても良いかも。
- ・自然環境に満足しているひとが多い
- ・だいぶ減った蛍が飛ぶ、害獣も多い
- ・車、バス少ない。古いバスが通っているが、古いバスは大きい。

※土丸支部は世代別でも集計しています。

あなたの性別は？						
男性				女性		
27				35		
あなたの年齢は？						
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
3	4	1	5	9	7	33

大土地区は住みやすいですか？				
10代～30代				
住みやすい	まあまあ	住みづらい	将来は出たい	
2	2	2	2	
40代～60代				
住みやすい	まあまあ	住みづらい	将来は出たい	
5	14	1	1	
70歳以上				
住みやすい	まあまあ	住みづらい	将来は出たい	
11	18	0	1	
交通手段は？				
10代～30代				
南海バス	自家用車	バイク	自転車	その他
1	4	2	2	1
40代～60代				
南海バス	自家用車	バイク	自転車	その他
0	20	1	0	0
70歳以上				
南海バス	自家用車	バイク	自転車	その他
13	17	1	0	2
外出の目的は？（複数回答可）				
10代～30代				
通勤	通学	通院	買い物	
2	2	0	3	
40代～60代				
通勤	通学	通院	買い物	
15	0	4	12	
70歳以上				
通勤	通学	通院	買い物	
2	0	23	28	
バスの本数についてどうですか？				
10代～30代				
満足	まあまあ	少ない		
0	0	1		
40代～60代				
※回答者にバスの利用者無し				
70歳以上				
満足	まあまあ	少ない		
0	3	13		

バスの割引券は利用していますか？		
10代～30代		
利用している	利用していない	知らない
0	0	1
40代～60代		
※回答者にバスの利用者無し		
70歳以上		
利用している	利用していない	知らない
12	4	1
食料品・日用品の買い物はどうか？		
10代～30代		
問題ない	困っている	
4	4	
40代～60代		
問題ない	困っている	
20	1	
70歳以上		
問題ない	困っている	
24	8	
近所トラブルは？		
10代～30代		
多い	少ない	問題ない
0	2	6
40代～60代		
多い	少ない	問題ない
0	2	19
70歳以上		
多い	少ない	問題ない
1	3	28
住民同士の交流はどうか？		
10代～30代		
多い	普通	少ない
0	3	5
40代～60代		
多い	普通	少ない
0	15	6
70歳以上		
多い	普通	少ない
2	21	10

地域（福祉）活動について			
10代～30代			
多い	普通	少ない	知らない
0	0	1	7
40代～60代			
多い	普通	少ない	知らない
1	13	1	6
70歳以上			
多い	普通	少ない	知らない
1	22	4	3
かかりつけの病院はありますか？			
10代～30代			
ある		ない	
4		4	
40代～60代			
ある		ない	
14		7	
70歳以上			
ある		ない	
31		1	
ひとりで病院に行けますか？			
10代～30代			
いける	家族の付き添いがいる	病院の送迎バスを利用	
3	3	0	
40代～60代			
いける	家族の付き添いがいる	病院の送迎バスを利用	
20	0	0	
70歳以上			
いける	家族の付き添いがいる	病院の送迎バスを利用	
20	9	4	
災害時、集まる場所を知っていますか？			
10代～30代			
知っている		知らない	
8		0	
40代～60代			
知っている		知らない	
21		0	
70歳以上			
知っている		知らない	
32		1	

頼れる人や連絡先はありますか？			
10代～30代			
ある		ない	
8		0	
40代～60代			
知っている		知らない	
21		0	
70歳以上			
知っている		知らない	
26		6	
自然環境について			
10代～30代			
満足	普通	不満	困っている
3	4	0	1
40代～60代			
満足	普通	不満	困っている
7	14	0	0
70歳以上			
満足	普通	不満	困っている
9	20	1	1
近くにあると便利だと思う施設はありますか？			
10代～30代			
ある		ない	
7		1	
40代～60代			
ある		ない	
20		1	
70歳以上			
ある		ない	
22		9	
現町会以外にあれば良いと思われる団体は？			
10代～30代			
ある		ない	
0		8	
40代～60代			
ある		ない	
0		19	
70歳以上			
ある		ない	
2		29	

長坂地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年11月8日（火） 19時00分～20時00分

場 所：北部市民交流センター 多目的室

参加人数：31名（新泉ヶ丘5名・泉ヶ丘5名・下瓦屋南町4名・貝田町4名・新家町4名・鶴原東4名・見出住宅5名）

テ ー マ：支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！

新泉ヶ丘支部

今ある活動

- ・ふれあいモーニングカフェ
- ・寄せ植え
- ・敬老会
- ・クリスマス会



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・夕涼み会
- ・ゲーム大会



そのためにすること

- ・チケット制
- ・広報は回覧、放送、役員を通じてお知らせする
- ・ゲームの材料を子どもたちに作ってもらう

泉ヶ丘支部

今ある活動

- ・「一杯のコーヒー」クラブの立ち合い
- ・買い物、食事等のグループ活動
- ・ひだまり
- ・カラオケ
- ・自彊術



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・健康麻雀教室
- ・高齢者（男性）の料理教室
- ・グランドゴルフ
- ・高齢者サロン
- ・健康促進サークル



そのためにすること

- ・男の料理教室の良き指導者

下瓦屋南町支部

今ある活動

- ・アスティー友の会
- ・世代間交流（昔遊び(竹馬、知恵の輪など)、やきいも会、イベント(うた、太鼓など)、茶道(子どもがお茶をたてる、おはこびをする))
- ・文化祭



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・たくさんの人に広めたい
- ・今ある活動を大切に続けていきたい



そのためにすること

- ・広報を工夫する
- ・SNS を活用する

貝田支部

やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・カラオケ ・コミュニティカフェ ・モルック



そのためにすること

- ・現在の福祉委員（女性）は 69 歳以下で仕事をしている人がほとんど
- ・責任者となる人の選出がポイント

新家町支部

今ある活動

- ・おしゃべり会 ・七夕祭 ・敬老の日（紅白饅頭、赤飯配布）
- ・もちつき（代わりに漫談、アコーディオン演奏） ・防災訓練（非常食配布）



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・チラシ配布 ・声をかける（町内のことがよく分かる）

鶴原東町支部

今ある活動

- ・月 1 回の見守り ・敬老の日の赤飯配布 ・年 1 回の日帰り研修
- ・きちょう苑と長坂小 3 年生と共同で世代間交流

見出住宅支部

今ある活動

- ・卓球
- ・吹き矢
- ・カラオケ
- ・綿菓子、かき氷イベント
- ・道成寺参拝



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・焼きそば、お好み焼きで花見
- ・料理教室
- ・ピアノ、オルガン教室

日根野地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年11月12日（土） 19時00分～21時00分

場 所：日根野公民館

参加人数：39名（東上4名・久ノ木3名・中筋6名・西上4名・西出5名・野口2名・
新道出4名・俵屋4名・野々地蔵7名）

テ ー マ：①防災②地域活動③この町の良いところ④その他のうち①～④のいずれか

東上支部

選択テーマ ③この町のよいところ
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
桜まつり、ゆまつり（五社音頭）、まくらまつり
えべっさん
クリスマス会（長生会・子ども会・福祉委員会）
カラオケ（長生会）
祭りごとが多い。これらは子どものころから身につけている。これを皆で守っていきたい。村が協力し、後押ししていききたい。
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
井川が世界遺産に登録される
ハイキングコースの整備
町内会道路の整備（日根荘と共に）
まくら祭りの伝統の維持
その他（日根野地区全体で共有したいことなど）
井川の保全、ゴミをほかさない
井川が最初にながれてくるのが東上なので、東上できれいにする活動をして、全体で共有したい

久ノ木支部

選択テーマ ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
朝のラジオ体操は初めてから30ヶ月以上となり、今年の10月末に1万人を突破した。非町会員の方も参加してくれるようになり、地域のつながりができている。
活動資金調達のため久ノ木児童公園の除草を受けており、「夏場にお茶を飲みたい」となり、茶葉の購入資金に充てている。
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
町会員の3分の2が高齢者世帯である
住宅開発が進み、人口は増え、若者も多いが町会への加入が少ない。

5月の町会の川掃除の際には町会外の方々の参加協力が多かった。
 廃品回収時にこども会のポスティングと一緒にチラシを入れた。子ども会も一緒ににぎやかに掃除ができた。町会員・非町会員問わず垣根を超えた活動をして、広めていきたい。

中筋支部

選択テーマ ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
中筋は小さく人数の少ない町なので集まりやすい
おもな活動として世代間交流（年1回）子ども会と共に陶芸教室を実施
民生委員で見守り活動
久ノ木さんのラジオ体操をして帰ってくる姿を見ると、ニコニコしていて、体を動かすことは大切と感じている
中筋の長生会の参加率はすごく、ほぼ100%で半強制的。
地域であつまることが少ない。集まる場所も限られているので公園を作って欲しい、集まるところができれば子どもも来るのではないかな
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
高齢化が進むなか、健康体操などの健康維持のための体操や、絵手紙、ウォーキング、多肉植物の寄せ植えなど色々やっていきたい。
ちょっと話もでき、ちょっとほっこりできるように次へ次へとつながって行かないといけない
ネット設備を整えて活動の幅を広げていきたい。設備を整えるのに取り組みを変えないといけない。
その他（日根野地区全体で共有したいことなど）
次世代につなぐ

西上支部

選択テーマ ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
認知予防体操
西上カフェ
一人暮らしの見守り活動
カラオケ
元気塾
ゴルフ大会
川掃除年2回（青年団主催）

まくら祭り
子ども会 お盆に夜店
演芸大会
ウォーキング・琵琶湖ウォーク
旅行（伊勢・京都）
一人くらい高齢者の方を「ほほえみ」にご招待
他の村にない青年団が残っている。台風の時、青年団自らトラックを出して、ひとり暮らしの高齢者など台風で出たごみを出せない人の所を自主的に回ってくれた。青年団があるのは良いこと
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
現在のこども会会員が4名で、来年度子ども会がなくなる。連合として子ども会の構築をして行きたい。子ども会は青年団、町会の予備軍になる。そこがなくなると町会が廃る。枕祭りや子ども神輿もできなくなる。この辺を取り組まないといけな

西出支部

選択テーマ ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
西出支部としてカフェを検討中であり、他支部の状況を確認しました
高齢者の訪問に行っているが非常に話が長く、1時間くらいかかることがある。 話す相手、話す場所を求めているのかなと思いカフェをしたいと思った
野々地蔵カフェ、ヤクルトのオンライン工場見学の見学を実施、おしゃべりに熱中して、カフェ後、外に出ても話をしていた。カフェは良い場所だなと思った
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
地域交流カフェ活動実施主体連絡会に出席し、先進地域の取組状況などについて情報を集め研究する
西上カフェの見学・新道出カフェの見学をする。近隣地域の情報も収集し、研究する
町会加入・未加入に関わらず参加できるように準備していく
当面は年4回程度、イベント的に開催する
その他（日根野地区全体で共有したいことなど）
日根野地区の活性化と高齢者の孤立化を防ぐことに資することを目指す

野口支部

選択テーマ ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
毎年8月、お盆で皆が帰ってくるときに「納涼祭」をしている。この3年間コロナで中止していた。10月23日に「収穫祭」に名前を変えて実施した。 泉佐野市唯一の酒造所「北庄司酒造」があり、試飲会を実施。上方講談師の旭堂南左衛

門一門に講談界を実施してもらう。また、奥様方の大人クラブ、子ども用のゲームコーナー、子ども向けの制作教室を行った。「野口にこんなに子どもがいたのか」と思うほど来てくれた。お年寄りもお酒を飲んでワイワイした。
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
出来たら毎年 8 月のお盆の時期に「納涼祭」としてイベントを続けていきたい
町内会員と町会外の方とのつながり
大溝堀
大人クラブの活動

新道出支部

選択テーマ ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
令和 4 年 4 月～試行実施、7 月～本格実施 8 月ヤクルトオンライン工場見学/12 月折り紙・マジックシューの予定
掲示板や回覧での周知のみでなく、口コミで新規参加者が増加傾向
当初は皆さん遠慮があっただけ、飲食後「ありがとう」と 20 分程度で帰っていったが、毎月続けていると少しずつ時間も長く残ってくれるようになり会話も弾んできました
地域の「居場所」としてふらっと立ち寄った人を笑顔で迎える場所
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
比較的若い町会員の方の参加が少ないのでどうしたら参加してくれるか考えている
若い人と高齢者の世代間交流の場として取り組みたい
新道出力カフェの参加人数を増やすこと（年齢を問わずに気軽に参加でき、挽き立てのコーヒーを味わいながら会話を楽しむことができる場とする）
その他（日根野地区全体で共有したいことなど）
カフェで気軽にイベントを行いたいので何か新しい企画があればご紹介ください！

俵屋支部

選択テーマ ①防災
現在の活動や進捗状況（現在の状況）
活動は小規模。市の防災訓練に参加するのがやっと。各要所に消火器は配置して調べている。町内に地図を設けて避難を整えようとしている。
町会館に防災グッズ（ヘルメット・消火器・非常食など置いている）
今後取り組んでいきたいこと・予定していること
年齢問わず防災訓練をしたい
熊取原子炉現状を知りたい
ため池についてハザードチェックをし、みんなに周知したい
その他（日根野地区全体で共有したいことなど）

必要でないため池の跡地利用
開発が進み、雨水の調整が大切になっている
ため池がなくなった時のことを把握したい

野々地蔵支部

選択テーマ ①防災 ②地域活動
現在の活動や進捗状況（現在の状況）－ ①防災
自主防災組織での訓練の実施（高齢者の参加希望が多い）
防災組織の周知
豪雨災害が発生したときに備え、2ヶ月に1回のクリーングリーン作戦実施
現在の活動や進捗状況（現在の状況）－ ②地域活動
小物づくりの体験教室（参加者同士の会話・作品出来上がりの楽しみ）
音楽鑑賞（オカリナ・ハーモニカ・アコーディオン）
野外での活動（弁当持参で花見を行う。町内で花を作っている方がいる、お弁当は障害者の方が作ったものを購入）
世代間交流会（就学前の子どもを持つ若い世代）
電車でGO（ミニSL）
野々地蔵カフェの継続
その他（日根野地区全体で共有したいことなど）
日根野駅周辺に医療・コンビニ・交通が充実している
野々地蔵地区の民生委員メンバーは大変良くしてくれている
町会組織の縦の連絡が充実している（町会・長正会・子ども会・友の会）

南中地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年10月18日（木） 14時00分～15時00分

場 所：南部市民交流センター

参加人数：16名（安松5名・岡本3名・樫井東3名・樫井西5名）

テ ー マ：南中地区福祉委員会会議の案内文のデータ化に関するアンケート結果の共有

1. 南中地区福祉委員会の推進委員会等会議の案内文は紙とメールでのデータとどちらが良いですか。

紙	データ	無回答
19	11	0

2. 紙媒体ではなく、データでもらいたい資料はどれですか。

案内文	会議資料	その他	無回答
12	6	1	14

3. 2でその他と答えた方に質問です。具体的にどのような資料ですか。ただし、南中地区福祉委員会の事業のみでお答えください。

・安全パトロールの案内 ・イベントの案内 ・イベントの変更や中止の連絡

4. メールにてデータを受け取る環境について質問です。お使いの機器は何ですか。

パソコン	スマートフォン	無回答	その他
14	11	6	1

5. メールにてデータを受け取る環境について質問です。社協よりパソコンメールにてデータを送信することになりますが、受信できるメールアドレスを持っていますか。

持っている	持っていない	これから作る予定	無回答
20	5	0	3

6. メールにてデータを受け取る際、メールアドレスを覚えてもらうことになるが良いですか。

はい	いいえ	無回答
17	5	6

7. 支部（町）名について

安松	岡本	樫井東	樫井西	無回答	関係団体
8	5	6	5	1	3

中央地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年11月19日（土） 10時30分～11時30分

場 所：幸町会館

参加人数：7名（葵町4名、幸町1名、日根野西2名、）

テ ー マ：支部福祉委員会のこんなことしてみたいー！！

葵町支部

今ある活動

- ・子育てサークル
- ・お誕生日のお祝い
- ・ふれあい交流会
- ・元気塾
- ・登下校時見守り
- ・会館の掃除
- ・高齢者見守り
- ・あいさつ運動
- ・葵町公園草引き
- ・敬老の日饅頭配り
- ・安全パトロール



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・高齢者の集まりやすい場所を探す（会館まで遠い）
- ・高齢者と子どもの交流
- ・防災対策、防災訓練



そのためにすること

- ・会場を探す
- ・お手伝いしてくれる人を探す
- ・費用をどうするか考える

幸町支部

今ある活動

- ・ながら見守り（散歩、水やり等を行いながらの見守り）
- ・民生委員による独居高齢者の見守り
- ・防災笛を世帯に一個ずつ配布（2021年携帯用トイレ配布、2020年マスク配布）
- ・健康マージャン、カラオケ、卓球、太極拳
- ・AED研修会
- ・市内一斉パトロール
- ・元気塾への参加



やってみたいこと（やれそうなこと）

- ・安心安全のためのあいさつ運動



そのためにすること

- 子どもたちの意見を可視化する（感謝の言葉などを掲示板に掲示する）
- まずは自分から声かけをする（一人で帰らないように！など）

日根野西支部

今ある活動

- 花のあるまちづくり
- 独居高齢者の見守り
- 高齢者世帯の見守り
- 自主防災会の防災活動
- 粗大ゴミ回収



やってみたいこと（やれそうなこと）

- 防災訓練の参加者を一人でも多く増やしたい
- 活動に女性の目線を取り入れる
- 高齢者の健康状態の把握をしたい
- 子どもと一緒に防災訓練をしたい
- 見守りに対する子どもたちの意見を聞きたい



そのためにすること

- 小、中、高、大学校とのボランティア提携

二小地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和4年10月28日（金） 19時00分～20時00分

場 所：高松町総合会館

参加人数：21名（高松町4名、高松東4名、高松北4名、高松南2名、上町2名、大宮町2名、栄町1名、若宮町1名、大西町1名）

テ ー マ：2年後、10年後の地域について

高松町・高松南支部

1. 2年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・役員が高齢化しており、担い手が見つからない。
- ・早急に担い手が必要である。
- ・60歳定年制度が崩れたことで、担い手探しの障壁となっている。
- ・地域活動の担い手が見つからず、困っている。
- ・自営業されている人が少なく、常に地域活動ができない。
- ・コロナ禍の影響で交流ができない。
- ・年金制度が見直されて65歳を超えても働いている人が多く、担い手がいない。
- ・田畑が無くなり、造成する工事の車の出入りが多く、児童の登下校の安全が気になる。

2. 10年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・空き家が増え、用心が悪くなる。治安が悪くなる。
- ・地域住民が高齢化しているため、老老介護的な活動となり、役員が疲弊している。
- ・年金制度が更に見直されて70歳まで働く人が増加すると、早々、担い手が現れない。
- ・10年後、子どもが減り、学校が無くなるかもしれない。
- ・高齢者が増えて、活動できなくなる。

3. 1・2を踏まえて、今後大切にしていきたい思いや考え

- ・60歳を過ぎたら、町会員は役員として活動する規約を作る。
- ・地域には子ども会がある。町会役員とは世代が違うため、中間的組織があればいい。
例えば、青年層組織があると、順送り人的配置が可能では？
- ・働いていても担い手となれるような工夫がいるのでは？
- ・組長組織を活用できる方法を考える必要がある。
- ・若いからまだ無理という考えを改める必要性があるのではないか。

1. 2年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・町会役員の担い手が少ない。
- ・役員の担い手がいない。
- ・緑（木）が少なくなっている。
- ・定年が延長になり、役員不足。
- ・団塊世代の卒業。
- ・子ども会の入会率低下。レクリエーション旅行がなくなりそう。
- ・町会役員の担い手がいない。
- ・防災の意識が少ない。
- ・2年後はまだ何とかなりそう。次の2年はもうわからない。
- ・泉佐野市報はなくていい。
- ・コロナ禍でマスク生活が増え、交友しにくい。

2. 10年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・若者が少ない。
- ・子ども会の衰退により地元意識が薄くなり、将来の地域の担い手不足。
- ・人口が減り、町会加入率が下がる。町会が無くなるかも。
- ・10年後はたぶん生きていないのでわからない。
- ・高齢化が進み、歩いて行ける距離にお店や行政、病院が欲しい。
- ・10年後は今の役員が確実にいてないので、見えない。
- ・駐車場が増えて、近隣に昔のようなお店が減った。

3. 1・2を踏まえて、今後大切にしていきたい思いや考え

- ・少しずつ若い世代がサポートできる組織づくり。
- ・祭りの打ち上げ的なコミュニケーション。
- ・若い世代で子ども会や独居老人のサポート集団。
- ・町会役員は強制的に1期を担う様に条例を作る。
- ・例えば、住民票を受け付けるときに町会加入を促す。
- ・自主防災組織、青年団の補助
- ・民生委員の仕事範囲をきちっと決める。
- ・各町でなく行政の対策として、町会加入率を上げる。
- ・市議員も町会長、民生委員ができるようにする。
- ・町会は泉佐野市民であれば、自動加入にする。
- ・町会役員や民生委員の手当てを厚くする。
- ・町会費は住民税に含める
- ・町会への補助金増。

大宮町・大西町支部

1. 2年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・婦人会がほとんど活動していなかったもので、2年前からわからなくなりました。
- ・役員の担い手不足。
- ・2年後までは町会活動できると思います。
- ・町の美化。
- ・住民の高齢化。
- ・町会役員の後継者不足。
- ・高齢者の活動の場が不足。

2. 10年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・10年後に向けては抜本的な改革が必要だと思います。
- ・10年後は役員に対して今のようなボランティアではなく、時間給も考えていかなければならないと思う。
- ・生活を維持することに精一杯で町内会の活動をしてくださる方がいるのか不安に思います。
- ・10後は空き家が増え、人口が減っていく。
- ・子どもがいなくなり、老人の町になる。
- ・町全体にワンルームが建ち、住民同士のコミュニケーションが全くない。
- ・少子化問題の深刻化。

3. 1・2を踏まえて、今後大切にしていきたい思いや考え

- ・各家庭にタブレットを配布し、市報等もIT化にしていくようにする。
- ・小ざくらネットに余程の魅力が無い限り来てくれないと思う。
- ・最低賃金程度の支払いをする。
- ・市の魅力UPすることで、マスコミ等を通じて知らせる。
- ・ワンルームマンションの住民へ定期的なふれあいつくりの場所をつくる。
- ・若い人を対象に飲み会を開催し、住民同士でコミュニケーションを図る。

上町・栄町・若宮町支部

1. 2年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと

- ・2年後の校区編成の時期で、小ざくらネットから外れる支部もあるのでは。
- ・住民の人数が少ないこともあり、地域活動のお世話をしようという人がなかなかいない。一部の人ばかりに負担が増す。
- ・地域活動の担い手がなかなか見つからない。
- ・役員さんの負担が大きい。

・役員さんの仕事内容が住民の方々にあまり理解されていない。
・町内会に入らない人が多い。したがって町会役員がまわっていかない。
・児童の通学路に車道、歩道の区別が無いところが多く、危険だと思う。
・避難訓練について避難場所が上町は佐野高というのはおかしいと思う。

2. 10年後、課題だと感じていることや心配なこと、不安なこと
・協力員を依頼したいがどのように決めているか知恵をください。回覧板でお願いしたが1名しか出てこなかった。
・集まる機会を持てない。近隣でも知らない人ばかりになる。
・市と町内会の連絡が上手くいっていないような気がする。10年後には町内会が存在できないような気がします。
・独居高齢者が孤独死したり、施設に入所したりと、空き家が増えて、防犯上よくない状況になりそう。
・自治会の存続危機。現役員の高齢化。後継者不足。会員と非会員の構成比。
・若い世代との意識や感覚の違いがあると思う。

3. 1・2を踏まえて、今後大切にしていきたい思いや考え
・他町や地域の情報をもっと知り、活かしていきたい。 例：役員の交代や引き継ぎ方など
・せめて、若い世代の方々がお互いにコミュニケーションを取れたら…。

作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会
作成日：令和 5 年 10 月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。

